

# 白鷺教育会 姫路支部だより

令和2年12月11日発行・発行人 芦田 守

## 「ウィズ・コロナ」から「ポスト・コロナ」へ

白鷺教育会姫路支部 横内 恵



2020年は新型コロナウイルスに全世界が翻弄され、我々の日常生活も一変しました。学校生活や教育活動も大きな影響を受け、3月から始まった突然の臨時休校は3か月間にもおよび、6月から暫定的に学校が再開されました。この前例のない状況の中で、各学校は管理職を中心に数多くの課題への危機対応を迫られました。特に「学びの保証」対策では、ICT機器を活用したオンラインによる授業を継続して受けていた生徒と、学校から提示された課題での学習を余儀なくされた生徒との、教育環境による「学びの格差」が浮き彫りにされました。学校教育のデジタル化が遅れていた公立の学校は、国の「GIGA スクール構想」のもと急速にICT機器の環境対策を推進し、本年度中には一人一台のタブレットパソコンが配付される予定になっています。学校現場では若い教師を中心にICT機器を活用した授業に意欲的に取り組んでいる姿を見かけることが多くなり、研修会や研究発表会もオンラインで行う取組も試みられています。今後は授業や教育活動におけるICT機器の効果的な活用方法の開発が大きな課題であると考えています。

3か月間の臨時休校対策や学校再開後の日常の感染防止対策は、児童・生徒や学校関係者に大きな爪痕を残しています。夏季休業期間の大幅短縮、学校行事や部活動の制限、各種大会の中止や規模の縮小などが余儀なくされました。さらに施設設備の消毒、3密対策としての授業中のペア学習やグループ学習の制限、体育や音楽では大きな声を出さないなど、常にソーシャル・ディスタンスを心掛けなければならないことは児童・生徒や教師に大きな負担となり、学習活動や心身の成長に大きな影響を及ぼしています。

9月に入ってからは国からの相次ぐ「ウィズ・コロナ対策」が示され、学校も感染防止対策を講じながら正常な姿に戻りつつあります。今後は緊急対応時に見えてきた数多くの課題を丁寧に検証する中で、学校関係者(白鷺教育会も含めて)が知恵を出し合い、新しい学校教育の構築に向けて全力で取り組むことが急務であると思っています。

「ピンチをチャンスに変える」の言葉のように、数年後には「人々は、新型コロナに大きな犠牲を払うことになったが、結果的には社会や学校が大きく進化した」といえる日が来ることを期待しています。

### 物故者のお知らせ (36号以降)

浅野 勲 (昭36)	令和2年5月	寺脇 覚 (昭50)	令和2年7月
岸本博好 (昭37)	令和2年7月	岩谷敏之 (昭26)	令和2年8月
小西敏夫 (昭34)	令和2年11月		

心よりご冥福とお祈りいたします

## 姫路支部の活動状況と今後の見通し

コロナ感染防止を図りながら支部活動をどう進めて行くのか？姫路支部では、前年度末の支部役員会で、「3密」を避けるための措置として「総会中止も止む無し」の対応として「支部総会中止」に替わる「姫路支部総会資料」作りと配付準備、研修計画に基づく事業の可否等についての検討を進めてきました。

4月4日(土)の年度当初の支部役員会では、会員数の確認状況調査のための学校や職場宛の資料配付と共に、「支部資料」の配付準備作業などを行いました。

4月中には、白鷺教育会についての理解と協力をお願いするため、姫路支部機関誌第36号の支部だより掲載の「新会員」の皆様の学校や職場を訪問させていただきました。特に、新会員の新任教頭先生には、支部や本部からの資料配付や7月の会費集めについての説明も含めてお話をさせていただきました。新任地での慌ただしい中、快く対応いただき感謝しています。お陰様で、会費も集まり本部へ納入することができました。校区にお住いの退職会員と教頭先生との交流を通して、会員の物故や退職会員の動静も分かるようになってきています。

会員をつなぐものとしての広報活動は、コロナも関係なく頑張っており取り組んでいます。「支部だより第37号」もページを縮小していますがお届けいたします。勿論、学校の教頭先生や職場の担当者の皆様のお手伝いをお願いすることとなります。また、「提言38号」の執筆に際し、寄稿予定者の皆様に快諾いただいたことがコロナ禍での清々しい気持ちとなった一時です。令和3年3月にはお手元に届くこととなるでしょう。お楽しみに！

姫路支部会長 芦田 守

## 退職会員交流会中止のお知らせ

例年3月に開催しておりました「姫路支部退職会員交流会」は、中止させていただきます。

昨年度に続き今年度も中止することは、誠に残念なことではありますが、新型コロナの終息が見通せない現状ではやむを得ない事由とご理解ください。一日も早く皆様と再会できますことを心より願っております。

厚生部

## 編集後記

コロナ禍で今年度は多くの学校行事が中止となり、学校現場では、先生方が子どもたちの健康管理や成長のため、日々様々な工夫を凝らして尽力されていることと推察いたします。本会におきましても、全ての活動が中止となり、紙面を減ずることとなりましたが、会員の皆様との繋がりを念じつつ、「姫路支部だより第37号」をお届けします。

広報部 青井 知子・藤井三津子・坂田 紀子・田口 純子